令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
現代の国語	2	2 年	高等学校　現代の国語	数研出版
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、実社会における多様な言語活動を通して、実生活に必要な国語の「知識・技能」を確実に習得させるとともに、論理的に思考し、諸課題を解決するために必要な「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、生涯にわたって言葉を通じて社会に参画し、我が国の言語文化を尊重しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

生涯にわたる社会生活や専門的な学習に必要な国語の特質について理解し適切に使っている。

【思考・判断・表現】

創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を伸ばし、他者や社会との関わりの中で、国語で的確に理解したり効果的に表現したりするとともに、実社会の視点から、新たな考えを創造する力を高めている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを 深めたりしようとするとともに、言葉の価値を認識し、自覚的に読書に親しんで言葉を効果的に使おうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　25 日	対比の構造	私の中にある生命の歴史	
第　2　回 提出期限 5 月　23 日	一般論と主張	「大人になる」ための条件	第　1 回　（4 月 3 0 日） 評論文における「対比の構造」や「一般論と主張」の見分け方を解説する。文章の論理構成を正確に捉え、筆者の主張（大人の条件など）を読み解く基礎力を養う。
第　3　回 提出期限 6 月　20 日	具体と抽象	いま平和とは	

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 9 月　　26 日	具体と抽象	人と自然の共生とはどういうことか	
第　5　回 提出期限 10 月　　24 日	比較する	絵を前に思いをめぐらす	第　　2 回　（9月３０日） 「具体と抽象」の往還を意識した読解方法を指導する。平和や自然との共生といった抽象的なテーマについて、具体例と関連付けながら論理的に整理する手法を学ぶ。
第　6　回 提出期限 11 月　　21 日	視野を広げる	時間と自由の関係について	第　　3 回　（１０月２８日） 複数の対象を「比較する」視点や、多角的に「視野を広げる」論理展開を解説する。学習の総仕上げとして、時間と自由の関係性などの論点について、自分の考えを論理的に記述する言語活動を行う。

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
言語文化	2	2 年	高等学校　言語文化	数研出版
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

言葉による見方・考え方を働かせ、上代から近現代にわたる我が国の言語文化に関する「知識・技能」を深め、言葉に対する感性を磨くとともに、伝統的な言語文化を深く理解し、的確に記述・批評し合う「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、伝統と文化を継承・発展させ、豊かな人間性を涵養しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

生涯にわたる社会生活や専門的な学習に必要な国語の特質について理解し適切に使っている。

【思考・判断・表現】

創造的・論理的思考や感性・情緒を働かせて思考力や想像力を 伸ばし、他者や社会との関わりの中で、国語で的確に理解したり効果的に表現したりするとともに、実社会の視点から、新たな考えを創造する力を高めている。

【主体的に学習に取り組む態度】

言葉を通じて積極的に他者や社会と関わったり、思いや考えを 深めたりしようとするとともに、言葉の価値を認識し、自覚的に読書に親しんで言葉を効果的に使おうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　9 日	古文の世界 現代にも生きる教え	つれづれなるままに	
第　2　回 提出期限 6 月　　6 日	古文の世界 戦乱下の人間像	平家物語	第　　1 回　（6 月 3 日） 古文の基礎知識を確認し、『つれづれなるままに』や『平家物語』の読解を指導する。歴史的背景や登場人物の生き方、文章の特有のリズムについて理解を深める。
第　3　回 提出期限 7 月　　4 日	漢文の世界 故事と成語	矛盾 朝三暮四	

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 10 月　　10 日	古典から現代へ 詩歌の系譜	京洛之新緑、美無加 サーカス I was born	第　　2 回　（１０月１４日） 漢文の基本構造や訓読のルールを『矛盾』などの故事成語を通して解説する。後半は近代の詩歌（『サーカス』『I was born』など）を扱い、表現の工夫や心情の読み解き方を学ぶ。
第　5　回 提出期限 11 月　　7 日	古典から現代へ 詩歌の系譜	短歌	
第　6　回 提出期限 12 月　　5 日	古典から現代へ 詩歌の系譜	俳句	第　　3 回　（１月１３日） 短歌・俳句における情景描写や切れ字、季語の役割を解説し、限られた文字数に込められた世界観を読み解く。学習の総仕上げとして、古典や近代の詩歌に通底する日本文化の感性を整理する。

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
地理総合	2	2 年	高等学校　新地理総合	帝国書院
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），面接指導（年　9　回）での評価			

指導目標

地理的な見方・考え方を働かせ、現代の地理的諸課題、防災・減災、および持続可能な社会の構築に関する地図や地理情報システム（GIS）等の「知識・技能」を習得させるとともに、地域性や広域的なつながりを多角的に考察し、解決の方向性を探究する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、グローバルな視点に立ち、主権者としてより良い社会の形成に「主体的に参画・寄与する態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

地理に関わる諸事象に関して，世界の生活文化の多様性や，防災，地域や地球的課 題への取組などを理解するとともに，地図や地理情報システムなどを用いて，調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考・判断・表現】

地理に関わる事象の意味や意義，特色や相互の関連を，位置や分布，場所，人間と自然環境との相互依存関係，空間的相互依存作用，地域などに着目して，概念などを 活用して多面的・多角的に考察したり， 地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。

【主体的に学習に取り組む態度】

地理に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を 主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察や深い 理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我が国の国土に対する愛情，世界の 諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　25 日	国際理解と国際協力 生活文化の多様性と国際理解 5節　世界の産業と人々の生活	生活文化の多様性と国際理解。世界の多様な生活文化（衣食住・宗教等）を概観し、国際理解の重要性を学ぶ。	第　1 回　（5月１３日） 世界の生活文化の多様性を地図から読み解く。また、人口や環境などの地球的課題を提示し、国際協力が不可欠である背景を講義する。
第　2　回 提出期限 5 月　23 日	国際理解と国際協力 地球的課題と国際協力 1～3節	地球的課題と国際協力（1～3節）。人口、食料、居住・都市問題などの地球的課題の現状と、その解決に向けた国際協力を理解する。	
第　3　回 提出期限 6 月　20 日	国際理解と国際協力 地球的課題と国際協力 4～6節	地球的課題と国際協力（4～6節）。資源・エネルギー問題や地球環境問題を取り上げ、持続可能な社会に向けた国際的な取り組みを学ぶ。	

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 9 月　　26 日	持続可能な地域づくりと私た 自然環境と防災 1〜3節	自然環境と防災（1〜3節）。地形や気候などの自然環境の特性を学び、日本や世界で発生する自然災害と防災・減災対策を理解する。	第　　2 回　（9月３０日） 自然環境の仕組みと災害リスクを解説する。ハザードマップ等の動的な地理データを分析し、地域に応じた具体的な防災・減災の工夫を学ぶ。
第　5　回 提出期限 10 月　　24 日	持続可能な地域づくりと私た 自然環境と防災 4〜5節	自然環境と防災（4〜5節）。各地の災害事例を基に、ハザードマップの活用方法や、地域における防災体制のあり方を考察する。	第　　3 回　（１１月１１日） 身近な地域の調査手法やGISツールの基本を解説する。学習の総仕上げとして、持続可能な地域づくりに向けた課題の発見と解決策を考察する。
第　6　回 提出期限 11 月　　21 日	持続可能な地域づくりと私た 生活圏の調査と地域の展望	生活圏の調査と地域の展望。身近な地域の地図や地理情報システム（GIS）を活用し、地域の課題解決や今後の展望について学ぶ。	

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
歴史総合	2	2 年	歴史総合　近代から現代へ	山川出版
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

歴史的な見方・考え方を働かせ、近現代の歴史の変化や展開を、日本と世界の関わりの中で構造的に捉える「知識・技能」を習得させるとともに、現代の諸課題を歴史的背景から多角的に考察し、その解決に向けて論理的に構想・表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、主権者としての自覚を持ち、平和で民主的な社会の形成に「主体的に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けることができたか。

【思考・判断・表現】

近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養うことができたか。

【主体的に学習に取り組む態度】

近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりより社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民と我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることができたか。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　9 日	国際秩序の変化や大衆化と私たち 第一次世界大戦と大衆社会	第一次世界大戦と大衆社会。総力戦となった第一次世界大戦の背景と、戦後に形成された大衆社会の変容について学ぶ。	
第　2　回 提出期限 6 月　　6 日	国際秩序の変化や大衆化と私たち 経済危機と第二次世界大戦	経済危機と第二次世界大戦。世界恐慌が各国に与えた影響と、混迷する国際情勢から第二次世界大戦へ至る経過を理解する。	
第　3　回 提出期限 7 月　　4 日	国際秩序の変化や大衆化と私たち 戦後の国際秩序と日本の改革	戦後の国際秩序と日本の改革。大戦後の国際連合の成立や、GHQによる日本の戦後改革と社会の再建について学ぶ。	第　　1 回　（7 月 1 日） 二つの世界大戦がもたらした国際秩序の変化や大衆化の本質を解説する。戦後の日本の出発点（戦後改革）までの歴史的流れを論理的に整理する。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 10 月　　10 日	グローバル化と私たち 冷戦と世界経済	冷戦と世界経済。資本主義と社会主義の対立（冷戦）の展開と、その中での世界経済の発展やアジアの動向を理解する。	第　　2 回　（１０月２１日） 東西冷戦構造が世界各地に与えた影響を解説する。冷戦終結からグローバル化へ向かう世界の動きを、経済や社会の変容と結びつけて学ぶ。
第　5　回 提出期限 11 月　　7 日	グローバル化と私たち グローバル化する世界	グローバル化する世界。冷戦の終結に伴う世界の一体化（グローバル化）の進展と、地域統合の動きについて学ぶ。	
第　6　回 提出期限 12 月　　5 日	グローバル化と私たち 現代の課題	現代の課題。人口問題、環境問題、民族紛争など、現代世界が直面している諸課題の歴史的背景を多角的に探究する。	第　　3 回　（１１月１８日） 現代の地球的課題（環境・紛争等）がどのような歴史的経緯を経て生じたかを考察する。学習の総仕上げとして、これからの国際社会のあり方を主体的に探究する。

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
数学Ⅰ	3	2 年	新編　数学Ⅰ	啓林館
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），面接指導（年　4　回）での評価			

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数と式、2次関数、データの分析などの数理的な事象における基本的な概念や原理・法則の「知識・技能」を確実なものとするとともに、事象を数理的に捉えて論理的に考察し、問題を解決する過程を振り返って表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、数学のよさを認識し、数学を「主体的に生活や学習に活用しようとする態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

・数と式、２次関数、三角比、データの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。

【思考・判断・表現】

・数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力を身に付ける。
・図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付ける。
・関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】

・数学のよさを認識し数学を活用し，粘り強く考え、数学的論拠に基づき判断している。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　25 日	3章 2次関数 4節 2次不等式	2次不等式の意味を理解し、グラフを活用した2次不等式の解法を習得する。	
第　2　回 提出期限 5 月　23 日	4章 図形と計量 1節 三角比①	直角三角形における正弦（sin）、余弦（cos）、正接（tan）の定義と基本変形を学ぶ。	第　1 回　（6月3日） 直角三角形から単位円を用いた鈍角（180°まで）への三角比の拡張を解説し、重要な三角比の相互関係の活用法を指導する。
第　3　回 提出期限 6 月　20 日	4章 図形と計量 1節 三角比②	鈍角（0°から180°まで）の三角比の拡張、および三角比の相互関係の数式を学ぶ。	
第　4　回 提出期限 7 月　4 日	4章 図形と計量 2節 三角比と図形の計量①	三角形の辺と角の関係を表す正弦定理の仕組みと、それを用いた具体的な計算を学ぶ。	第　2 回　（7月1日） 正弦定理・余弦定理の使い分けと、図形の辺の長さや角の大きさを求める演習を行う。あわせて、面積公式の適用を学ぶ。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　5　回 提出期限 9 月　26 日	4章 図形と計量 2節 三角比と図形の計量②	余弦定理の仕組みと辺・角の決定、および三角比を用いた三角形の面積公式を学ぶ。	第　3 回　（9月2日） 箱ひげ図の正しい読み取り方を解説する。また、データの分散と標準偏差の計算プロセスを例題を用いて分かりやすく指導する。
第　6　回 提出期限 10 月　10 日	5章 データの分析 1節 データの散らばり①	データの度数分布表、ヒストグラム、四分位数、および箱ひげ図の読み方を学ぶ。	
第　7　回 提出期限 10 月　24 日	5章 データの分析 1節 データの散らばり②	データの平均値、分散、および標準偏差の定義と、散らばり具合の数値化を学ぶ。	第　4 回　（１０月１４日） 散布図と相関係数から2つのデータの傾向を分析する。学習の総仕上げとして、データの分析やこれまでの章の重要問題の復習を行う。
第　8　回 提出期限 11 月　21 日	5章 データの分析 2節 データの相関	2つのデータの関係を表す散布図の作成、および相関係数の意味と性質を学ぶ。	
第　9　回 提出期限 12 月　5 日	5章 データの分析 3節 データの分析の応用	実際の統計データを用いた仮説検定の考え方など、データの解釈と全体の総括を行う。	

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
数学A	2	2 年	新編　数学A	啓林館
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　3　回）での評価			

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、場合の数と確率、図形の性質などにおける事象の「知識・技能」を習得させるとともに、直感や経験だけでなく、論理的な根拠に基づいて筋道を立てて思考・判断し、数学的な表現を用いて的確に説明する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、数学の論理的な美しさを実感し、諸課題の解決に「主体的に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

・場合の数と確率，図形の性質についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解する。
・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付ける。

【思考・判断・表現】

・不確実な事象に着目し，確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力を身に付ける。
・図形の構成要素間の関係などに着目し，図形の性質を見いだし，論理的に考察する力を身に付ける。

【主体的に学習に取り組む態度】

・数学のよさを認識し数学を活用し，粘り強く考え，数学的論拠に基づき判断している。
・問題解決の過程を振り返って，考察を深めている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　9 日	1章 場合の数と確率 第4節 いろいろな確率①	独立な試行の確率 反復試行の確率	
第　2　回 提出期限 6 月　　6 日	1章 場合の数と確率 第4節 いろいろな確率②	条件付き確率 確率の乗法定理	第　　1 回　（5月２７日） 独立な試行と反復試行の識別を指導し、条件付き確率についてベン図を用いた解説を行い、確率計算の定着を図る。
第　3　回 提出期限 7 月　　4 日	2章 図形の性質 第1節 三角形の性質	直線と角 三角形の重心・外心・内心・垂心	

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 10 月　　10 日	2章 図形の性質 1節 三角形の性質	チェバの定理 メネラウスの定理	第　　2 回　（9月１６日） 三角形の五心の作図と性質を整理し、メネラウスの定理とチェバの定理の見分け方および立式のコツを指導する。
第　5　回 提出期限 11 月　　7 日	2章 図形の性質 第2節 円の性質	円周角 円と直線 2つの円の位置関係	
第　6　回 提出期限 12 月　　5 日	2章 図形の性質 第3節 空間図形	平面と直線 多面体 オイラーの多面体定理 切断面	第　　3 回　（１０月２８日） 接弦定理や方べきの定理の立式を整理し、正多面体の特徴や空間図形の切断面の解説を通して空間把握を補助する。

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
科学と人間生活	2	2 年	科学と人間生活	啓林館
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　8　回）での評価			

指導目標

科学的な見方・考え方を働かせ、身近な自然の事物・現象や科学技術が人間の生活に果たす役割についての「知識・技能」を習得させるとともに、観察や実験を通じて科学的に探究し、その結果を論理的に考察・処理し表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、自然への畏敬の念を深め、科学的な諸課題に「主体的に関わり、協働して解決しようとする態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則を理解し，知識を身に付けている。
・観察，実験などを行い，基本操作を習得するとともに，それらの過程や結果を的確に記録，整理し，自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自然の事物・現象の中に見通しをもって課題や仮説を設定し，観察，実験などを行い，得られた結果を分析して解釈し，根拠を基に導き出した考えを表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

自然の事物・現象に主体的にかかわり，それらを科学的に探究しようとするとともに，探究の過程などを通して獲得した知識・技能や思考力・判断力・表現力を日常生活や社会に生かそうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　　9 日	光の性質とその利用	光の進み方 光の波としての性質 電磁波とその利用	第　　1 回　（4 月 2 2 日） 水の屈折率を調べる実験、および偏光板や分光器を用いた光の観察手法について指導を行う。
第　2　回 提出期限 6 月　　6 日	熱の性質とその利用	熱とは何か エネルギーの利用	第　　2 回　（5 月 2 7 日） 光の波の性質や電磁波の利用に関する重要事項を復習し、第1回レポートの誤答解説を行う。
			第　　3 回　（6 月 1 7 日） 熱平衡時の温度測定、およびスターリングエンジンの製作を通した熱機関の仕組みについて指導を行う。
第　3　回 提出期限 7 月　　4 日	太陽と地球	身近な天体（太陽・月） 潮の満ち引き 太陽放射と地球 大気の運動	第　　4 回　（6 月 2 4 日） 太陽の表面観察や月の満ち欠けのモデル実験、および地球規模の大気の動きに関する指導を行う。

			第　　5 回　（7 月 8 日） 河川による景観と災害の指導 流水による地形形成の再現実験を基に、河川のはたらきと気象災害の事例について指導を行う。
第　4　回 提出期限 10 月　　10 日	自然景観と自然災害	河川のはたらきによる景観と災害	第　　6 回　（9 月 1 6 日） 断層や液状化のモデル実験、および火山の噴火を再現する実習を通した減災・防災対策の指導を行う。
第　5　回 提出期限 11 月　　7 日	自然景観と自然災害	地震による景観と災害（プレートの動き） 火山による景観と災害	第　　7 回　（１０月２１日） 太陽・地球、および自然災害に関する重要事項を復習し、レポートの補足指導を行う。
第　6　回 提出期限 12 月　　5 日	これからの科学と人間生活	課題研究の進め方 微生物の利用 新エネルギーの有効利用 自然の恵みと災害	第　　8 回　（1 月 1 3 日） 全12回の学習内容（光・熱・地学・環境）を振り返り、単位認定試験に向けた総括および学習指導を行う。

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
体育	3	2 年	現代高等保健体育	大修館
評価方法	添削指導（計　3　回），試験（年２回），面接指導（年　15　回）での評価			

指導目標

スポーツに関する見方・考え方を働かせ、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための各種種目の特性に応じた技能や安全管理の「知識・技能」を習得させるとともに、自己の体力や技術に応じた課題を見つけ、その解決に向けて練習方法や作戦を工夫し他者に伝える「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、ルールを遵守し互いに協働しながら、多様な運動に「主体的に親しむ態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な知識や生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するための科学的知識及び運動の特性に応じた段階的な技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

自己や仲間の課題に応じた運動の取り組み方や健康の保持及び体力を高めるための運動の計画を工夫し、それらを表現している。

【主体的に学習に取り組む態度】

運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、 運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　　25 日	オリンピックとパラリンピックの意義	オリンピズムの基本精神、パラリンピックの価値、および国際親善や社会に果たす役割	
			第　1～2　回　（5月２０日） 【実技】 準備体操 集団行動
			第　3～4　回　（6月１０日） 【実技】 準備体操 バドミントン

			第　　5　　回　（7月8日） 【座学】 オリンピズムとパラリンピックの理念について解説し、平和や共生社会の実現に向けたスポーツの意義について考察させる。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
			第　6～7　回　（１０月７日） 【実技】 準備体操 体育祭練習
第　2　回 提出期限 10 月　　10 日	スポーツが経済に及ぼす効果	スポーツが経済に及ぼす効果 スポーツが経済活動に与える影響、スポーツビジネスの広がり、地域振興への関わり	第　　8　　回　（１１月１１日） 【座学】 スポーツが経済に及ぼす効果（産業、雇用、メディア等）を整理し、現代社会におけるスポーツの多面的な価値について理解を深めさせる。
			第　9～１０ 回　（１２月２日） 【実技】 準備体操 バスケットボール

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
保健	1	2 年	現代高等保健体育	大修館
評価方法	添削指導（計　3　回），試験（年２回），面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

健康に関する見方・考え方を働かせ、個人及び社会生活における健康・安全に関する科学的な「知識・技能」を確実に習得させるとともに、現代社会の健康課題や災害時の安全確保について的確に認知・判断し、課題解決に向けて行動を選択し表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、生涯にわたって自他の心身の健康を保持増進し、健康で活力ある社会の形成に「主体的に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

・免疫，遺伝，生活行動などの主体要因と，自然，経済，文化，保健・医療サービスなどの環境要因が互いに影響し合いながら健康の成立に関わっていることについて，理解する。

【思考・判断・表現】

・国民の健康課題について，健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータや資料に基づいて
分析し，生活の質の向上に向けた課題解決の方法をヘルスプロモーションの考え方を踏まえて整理できる。

【主体的に学習に取り組む態度】

・健康の考え方について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。
・生活習慣病とその予防について，課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 5 月　23 日	精神の健康	心と体の関わり 欲求とストレス 心身の健康と自己実現	第　1 回　（4 月２２日） 複雑な現代社会におけるストレスへの対処法や心と体の相互作用を理解し、ライフステージの変化や妊娠・出産に関わる心身の健康への備えと、私たちが暮らす現代社会における健康保持のあり方について学ぶ。
第　2　回 提出期限 9 月　26 日	生涯の健康（１）	ライフステージに応じた健康 結婚生活と健康 妊娠・出産と健康	
第　3　回 提出期限 11 月　7 日	生涯の健康（２）	加齢と健康 保健・医療機関の利用と役割 環境と健康	第　2 回　（１１月７日） 生涯にわたる健康維持における健診の意義や保健・医療制度の役割を理解した上で、自らの健康を主体的に管理し、私たちが暮らす現代社会における生涯の健康づくりについて学ぶ。

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
音楽Ⅰ	2	2 年	音楽Ⅰ　Tutti＋	教育出版
評価方法	添削指導（計　6　回），試験（年２回），面接指導（年　8　回）での評価			

指導目標

音楽的な見方・考え方を働かせ、多様な音楽活動（歌唱、器楽、創作、鑑賞）を通した表現技術や背景にある文化の「知識・技能」を習得させるとともに、音楽の美しさや構造的特徴を感知し、自らの思いや意図を持って創意工夫し表現・鑑賞する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、豊かな感性を磨き、音楽の多様性を認め、生涯にわたり音楽を「主体的に愛好する態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり及び音楽の多様性などについて理解している。
・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身につけ、歌唱、器楽、創作で表している。

【思考・判断・表現】

音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように表すかについて考え、どのように表すかについて思いや意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴いたりしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・共同的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　　25 日	楽典 音楽史 歌唱	ポピュラー音楽の楽典（テンポ・リズム記号） 西洋音楽史（ロマン派の音楽） 歌曲の歌唱（シューベルト「魔王」）	第　　1 回　　（4月２２日） 学習の概説と、1年生での既習事項の復習を行う。「ロマン派の音楽」の劇的な表現や感情の表出に注目し、作品の背景と特徴について理解を深める。
第　2　回 提出期限 5 月　　23 日	楽典 音楽史 歌唱	調号と音階（長調・短調の仕組み） 西洋音楽史（国民楽派の音楽） 日本歌曲「浜辺の歌」	第　　2 回　　（4月３０日） 「調号と音階の構造を理解する」。シャープやフラットによる調性の変化を学び、「魔王」「浜辺の歌」における旋律と伴奏の関わりについて理解を深める。
第　3　回 提出期限 6 月　　20 日	歌唱 鑑賞	合唱の表現（混声合唱・パートの役割） 西洋音楽史（近現代の音楽） 近代歌曲「赤とんぼ」	第　　3 回　　（6月１７日） 歌詞の情景や登場人物の心情の変化を声の音色や強弱で表現する工夫を行い、楽曲にふさわしい表現で歌唱を行う。「魔王」「浜辺の歌」
			第　　4 回　　（6月２４日） 「近現代の音楽の特徴について理解を深める」。20世紀以降の多様な音楽様式や新しい音の試み、近代の日本の作曲家（山田耕筰など）の功績について理解する。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 9 月　　26 日	楽典 器楽	コードネームの応用（主要三和音とセブンス） 我が国の器楽（和楽器の構造と楽譜） 「さくらさくら」	第　　5 回　（9 月 2 日） 「合唱における声の響きとバランスを学ぶ」。混声合唱などの多声部によるアンサンブルの楽しさを体験し、他パートの響きを感じながら歌唱を行う。
			第　　6 回　（１０月２８日） 「和楽器の音色と特徴について理解を深める」。日本の伝統的な楽器（箏・三味線・太鼓など）の構造や特有の奏法について学び、日本の音の美しさに注目しながら作品を鑑賞する。
第　5　回 提出期限 10 月　　24 日	鑑賞 音楽史	世界の諸民族の音楽（アジア・アフリカ地域） 諸民族の楽器と音階 ガムランやラテン音楽の鑑賞	第　　7 回　（１０月８日） 「世界のさまざまな音楽文化について理解を深める」。各地域の気候や生活、宗教と結びついた特有のリズムや音階を体験し、独自の音楽文化を尊重する視点を持って鑑賞を行う。
第　6　回 提出期限 11 月　　21 日	音楽史 鑑賞	現代の音楽文化（ポピュラー音楽、映画音楽、メディア） 日本の現代音楽と伝統の継承 武満徹作品の鑑賞	第　　8 回　（１１月１８日） 2年間で学んだ多様な音楽（古典から現代、東洋から西洋）を振り返り、現代社会における音楽の役割や価値について視野を広げ、単位認定試験に向けた総括を行う。

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
英語コミュニケーションⅠ	3	2 年	MY WAY English Communication Ⅰ	三省堂
評価方法	添削指導（計　9　回），試験（年２回），面接指導（年　12　回）での評価			

指導目標

英語学習の特質を踏まえ、聞くこと、読むこと、話すこと［やり取り］、話すこと［発表］、書くことの五つの領域におけるコミュニケーションの基礎的な「知識・技能」を確実に習得させるとともに、日常的な話題について情報や考えなどを的確に理解したり、目的に応じて適切に表現し伝え合ったりする「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、言語や文化への理解を深め、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

・外国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解し、外国語の音声､語彙・表現、文法の知識を身に付けている。
・外国語の音声、語彙・表現、文法を、五つの領域（聞くこと、読むこと、話すこと［やり取り］、話すこと［発表］、書くこと）において実際のコミュニケーションの場面で運用できる技能を身に付けている。

【思考・判断・表現】

・場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について、情報や考えなどの概要・詳細・意図を外国語で的確に理解したり適切に表現したりしている。
・外国語で聞いたり読んだりしたことなどを活用して、場面・目的・状況等に応じて、幅広い話題について外国語を話したり書いたりして、情報や考えなどの概要・詳細・意図を適切に伝え合っている。

【主体的に学習に取り組む態度】

・外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重し、自律的・主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。
・他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語で聞いたり読んだりしたことを活用して、自分の意見や考えなどを話したり書いたりして表現しようとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 4 月　25 日	Lesson 6	現在分詞の形容詞的用法 過去分詞の形容詞的用法	第　1 回　（5 月 1 3 日） 車いすユーザーである三代達也さんの世界旅行の経験について理解し、深めることができる
第　2　回 提出期限 5 月　9 日	Lesson 6	分詞構文 It is...that	第　2 回　（5 月 2 7 日） ことば遣いのあり方について、It is ... that ～ 等の表現を用いて理由や根拠とともに書いて伝える
第　3　回 提出期限 6 月　6 日	Lesson 7	関係副詞where	第　3 回　（6 月 3 日） 難民の子どもたちのサッカーチームができた経緯についてのレポートから、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。
	Lesson 7	比較級、最上級	第　4 回　（6 月 1 7 日） 関係副詞、比較級・最上級の使い方を確認

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　4　回 提出期限 7 月　　4 日	Lesson 7	比較級、最上級	第　　5 回　（6 月 2 4 日） 関係副詞、比較級・最上級の使い方を確認
		比較級、最上級	第　　6 回　（7 月 8 日） 関係副詞、比較級・最上級の使い方を確認する。比較級を使って、自分の好きなものについて書く
第　5　回 提出期限 9 月　　26 日	Lesson 8	条件を表すif節	第　　7 回　（9 月 1 6 日） 吉藤健太朗さんが開発した分身ロボットについての科学雑誌から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする。
第　6　回 提出期限 10 月　　24 日	Lesson 8	仮定法過去	第　　8 回　（9 月 3 0 日） 仮定法過去の使い方を確認する。
	Lesson 8	I wish〜, as If〜	第　　9 回　（１０月１４日） 条件を表すif、仮定法過去、I wish 〜、as if 〜の使い方を確認する。仮定法過去を使って、自分のしたいことについて書く。
第　7　回 提出期限 11 月　　7 日	Lesson 9	SVO_1O_2（O_2＝how to〜）	第　　10 回　（１０月２１日） 角野栄子さんの作品と想像力の関係についての講演から、概要や要点を聞き取ったり読み取ったりする
第　8　回 提出期限 11 月　　21 日	Lesson 9	SVO＋to不定詞 SVOC（C＝動詞の原形、 現在分詞）	第　　11 回　（１１月１１日） SVO＋to不定詞を使って、自分の願いについて書く。
第　9　回 提出期限 12 月　　5 日	Lesson 10	プレゼンテーションの英語	第　　12 回　（１１月１８日） プレゼンテーションで頻出する英語表現を使って、自己紹介文を考える

令和8年度　青森山田高等学校　通信教育実施計画書

教科・科目	単位数	年次	教科書	出版社
総合的な探究の時間	1	2 年		
評価方法	添削指導（計　2　回），　面接指導（年　2　回）での評価			

指導目標

地域社会や実社会に関する見方・考え方を働かせ、社会的な諸課題の背景や現状を調査・分析するための応用的・実践的な「知識・技能」を習得させるとともに、他者と協働して課題を多角的に考察し、解決に向けた仮説を論理的に構築・表現する「思考力・判断力・表現力」を育成する指導を通して、持続可能な社会の形成に向けて主体的に社会に参画・寄与しようとする「主体的に学習に取り組む態度」を養う。

（評価の観点）

【知識・技能】

現実社会の諸課題の解決に向けて、その原因や背景、要因を探究するための手がかりとなる知識を身に付けるとともに、様々な手段を用いて、探究に必要な諸情報を適切かつ効果的に収集できる手法を身に付けている。

【思考・判断・表現】

探究活動を通して、現実社会の諸課題を多様な視点から分析し、その原因や解決への取り組みを導き出し、導き出した結論を根拠に構想したり，社会の在り方などについて構想したことの妥当性や効果，実現可能性などを指標にして議論し公正に判断したり，表現したりすることができている。

【主体的に学習に取り組む態度】

現代の諸課題を考察し、その課題の解決に向けての方策を，主体的に追究しようとしている。

添削課題	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画（実施内容）
第　1　回 提出期限 6 月　19 日	地域課題の発見と探究計画	身近な地域社会の現状から解決すべき課題（問い）を見つけ、調査のための仮説構築と探究計画書を作成する手法を学ぶ。	第　1 回　（5月１３日） 社会や地域の諸課題から独自の「問い」を立てる手法を解説する。各自の興味関心に応じた具体的な調査計画書や仮説の作成を指導する。
第　2　回 提出期限 11 月　27 日	情報収集と成果のまとめ	インタビューやアンケート等で集めたデータを分析・整理し、解決策をスライドにまとめて振り返りを行う方法を学ぶ。	第　2 回　（１０月７日） 集めた情報の論理的な分析方法と、他者へ効果的に伝えるプレゼン構成（現状・分析・提案）を解説する。活動の振り返りと成果の共有を行う。